

(12) 参入に繋がった事例

新規に参入した 35 事例、法人に就職した 2 事例、慣行栽培から転換参入した 5 事例、計 42 事例を紹介する。

新規参入に繋がった事例では、ほとんどの事例で就農前に農家、法人などで研修を受けていた。都道府県などの公的機関の担当者への相談は、新・農業人フェアなど就農相談会や関係機関からの紹介が多かった。参入後も農業改良普及センターなどの公的機関との関係があり、慣行農家と同様の支援を受けていると思われる事例が見られた。民間団体の担当者への相談も新・農業人フェアなどの相談会が多かった。

新規参入に繋がった事例のうち、青年就農給付金などの受給者が 9 事例あり、相談担当者に給付金制度が浸透していることがうかがえる。

転換参入に繋がった事例の参入のきっかけには、有機農業の見学・講習・相談会が 3 件、ネット販売会社よりの紹介が 1 件あった。

参入には、当然のことであるが希望者の人柄が大きく作用しているようである。

新規就農事例 1

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|------|----------|-------|------|
| 東北 | 男 | 34歳 | 有 | 1人 | 会社員 | 不明 | 畑作、野菜作 | 59a | 59a |

研修内容など 隣接市の有機栽培農家で、葉茎菜・根菜類野菜を研修。青年就農給付金(準備型)を受給

相談のきっかけ 不明

参入に繋がった理由 研修先がおおらかで生産品を受け入れてくれる動きがあった。前職が営業だったので人あたりが良く、販路開拓が順調に進んだ。受入市町の担当者が大変熱心だった

参入後の状況 隣接市町であるが車で数分と大変近く栽培技術を指導。研修先や受入市町の情報をもとに農地を借り入れる。就農支援資金を活用し、必要な機械・機器類、種子について細かく指導している

新規就農事例 2

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|----|-------|----------|-------|------|
| 東北 | 男 | 27歳 | 無 | 無 | 不明 | 200万円 | 野菜作 | 30a | 30a |

研修内容など 就農地とは別の自治体の農業生産法人で野菜栽培全般を研修

相談のきっかけ 就農予定自治体への就農等相談による
 参入に繋がった理由 農地について、自治体を通じた斡旋があったため
 参入後の状況 就農後も、別の自治体の農家でトマト栽培の研修を継続している。中古資材については、自治体の仲介により取得。近隣農家とは積極的に交流しており、住宅も農家からの斡旋による

新規就農事例 3

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|------|----------|-------|------|
| 関東 | 男 | 43歳 | 有 | 3人 | 会社員 | 不明 | 野菜作 | 不明 | 不明 |

研修内容など 有機農業研修機関で研修。3月就農予定

相談のきっかけ 就農相談会

参入に繋がった理由 受入体制。住宅が見つかる

参入後の状況 準備中

新規就農事例 4

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|-------|----------|-------|------|
| 関東 | 男 | 44歳 | 有 | 1人 | 会社員 | 600万円 | 野菜作 | 80a | 80a |

研修内容など 当農業塾で1年間研修し、当地の市農政課への相談で農地の紹介斡旋を受け、就農した。研修中から就農給付金を受け、当農業塾がつないで県の普及センターと当市農政課の支援を受けられた。露地野菜30品目余で営農

相談のきっかけ 東京で開催された新・農業人フェアで相談を受けた

参入に繋がった理由 県内で就農したい、当農業塾で研修を受けたいと相談され、数日の作業体験を経て入塾を認めた。当人の強い意志と積極的な研修、さらに県普及指導員と市農政課の積極的な対応、支援が効奏してスムーズな就農につながった

参入後の状況 当農業塾は、参入後も積極的に支援し、人手を要する作業に援農を行い、販売先の情報共有、資材の共同購入などで連携している。技術相談も継続している

新規就農事例 5

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|------|-------|----------|-------|------|
| 関東 | 男 | 37歳 | 無 | 無 | 団体職員 | 200万円 | 野菜作 | 62a | 62a |

研修内容など 有機農業法人で露地野菜を、有機農家で夏秋トマトを研修。青年就農給付金（準備型）を受給

相談のきっかけ 新規就農相談会

参入に繋がった理由 青年就農給付金（準備型）申請時から、青年等就農計画申請、日本政策金融公庫への融資相談等、就農準備に関する相談について、関係機関と連携しつつ対応し円滑な就農準備ができたため

参入後の状況 特に、就農協力員制度を活用し、技術面での濃密な支援ができた。また、

有機農業に関する研修会や商談会の情報提供を積極的に行い、12月のイベントでは個人で出展するなど県内の有機農業者との連携も順調であった

新規就農事例 6

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資 金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----|----------|--------------|-----------|----------|
| 関東 | 男 | 34歳 | 有 | 1人 | 会社員 | 不明 | 畑作、野菜作 | 37a | 不明 |

研修内容など 農業生産法人（有機農業）、野菜栽培全般。青年就農給付金

相談のきっかけ ウェブサイトなど

参入に繋がった理由 技術

参入後の状況 研修農家、技術、農地

新規就農事例 7

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----|-------|--------------|-----------|----------|
| 関東 | 男 | 45歳 | 無 | 1人 | 会社員 | 250万円 | 野菜作 | 45a | 45a |

研修内容など 有機農家（土づくり 栽培管理 出荷調整）

相談のきっかけ 農業会議への就農相談

参入に繋がった理由 担い手育成総合支援協議会による新規就農者支援会議（経営計画作成支援）

参入後の状況 役場、JA、農業会議、町農産物直売所運営委員会

新規就農事例 8

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資 金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----|----------|--------------|-----------|----------|
| 関東 | 男 | 44歳 | 無 | 人 | 会社員 | 不明 | 野菜作 | 34a | 34a |

研修内容など 県外での研修、県内での援農を経て、県の独立就農チャレンジコース入校。
露地野菜

相談のきっかけ 県就農相談窓口、市町村相談窓口

参入に繋がった理由 農地の確保等関係機関の連携がうまくいったため

参入後の状況 県農業技術センター普及指導員による指導

新規就農事例 9

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----|-------|--------------|-----------|----------|
| 東海 | 男 | 42歳 | 有 | 2人 | 会社員 | 500万円 | 畑作 | 30a | 不明 |

研修内容など 有機農家での技術支援

相談のきっかけ 野菜市の開催

参入に繋がった理由 栽培技術、農地等の相談と、技術支援の体制があったため

参入後の状況 有機農家が、農地・技術等のお世話をしてくれたため

新規就農事例 10

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資 金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|----|-----|----------|----|----------|--------------|-----------|----------|
| | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|----|---|-----|---|---|-----|----|-----|-----|-----|
| 東海 | 男 | 31歳 | 無 | 無 | 会社員 | 不明 | 野菜作 | 70a | 70a |
|----|---|-----|---|---|-----|----|-----|-----|-----|

研修内容など 先進農家、青年就農給付金

相談のきっかけ 不明

参入に繋がった理由 研修をしっかりと行ったため

参入後の状況 不明

新規就農事例 11

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----|-------|--------------|-----------|----------|
| 東海 | 男 | 44歳 | 有 | 1人 | 会社員 | 300万円 | 野菜作 | 30a | 30a |

研修内容など 研修先は有機農家。品目は年間 20～30 品目を目指す。青年就農給付金（準備型）を 1 年間受給。農地は就農を予定した市のお世話で確保。青年就農給付金（経営開始型）を受給予定

相談のきっかけ 有機農業団体の就農相談コーナーに来て、相談を受けた

参入に繋がった理由 農業体験はなかったが、本人の就農への意志がはっきりしていたこと。体力があったこと。相談時は無職だったが、持家と蓄えがあり、奥さんが仕事を持っていたので、資金面の不安がなかったこと。奥さんの就農への理解があったこと。自宅から比較的近い場所にある研修先との相性がよく、借りた農地も近くにあったこと。農地が行政の協力でスムーズに借りられたこと

参入後の状況 研修先がすぐ近くにあるので、不安がない。販路として行政が運営する直売場があるので、毎日出荷することができる（あまり値下げ合戦にならないよう配慮している直売所）

新規就農事例 12

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----------|-------|--------------|-----------|----------|
| 東海 | 女 | 33歳 | 無 | 無 | パート・アルバイト | 200万円 | 野菜作 | 20a | 20a |

研修内容など 青年就農給付金（準備型）認定研修機関で給付金を受給しながら 2 年間の研修を受け、就農。露地野菜で多品目有機栽培で就農した。

相談のきっかけ 認定研修機関での研修を開始後、農起業支援センターを訪れ、青年就農給付金（準備型）受給申請をした。

参入に繋がった理由 認定研修機関で熱心に研修を行い、技術を身に着けた。また農地確保については、新規参入者が入りにくい町であったが、研修責任者、普及課職員も町へ同行し、就農への熱意を伝えたことで農地の確保が可能となった。就農後は町や地元の JA から応援を受けた。

参入後の状況 就農した町からも応援を受け、また JA 青年部へも加入。JA の直売所で有機農業コーナーを作り、販売している。

新規就農事例 13

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資金 | 参入後の | 全農地 | 有機 |
|----|----|----|-----|----------|----|------|------|-----|----|
|----|----|----|-----|----------|----|------|------|-----|----|

| | 別 | | 者 | か | | | 農業形態 | 面積 | 面積 |
|----|---|-----|---|---|-----|--------|------|-----|-----|
| 東海 | 男 | 35歳 | 無 | 無 | 会社員 | 1000万円 | 野菜作 | 46a | 46a |

研修内容など 青年就農給付金（準備型）研修機関の有機栽培農家、少量多品目野菜、水稲。研修中は青年就農給付金（準備型）。就農後は青年就農給付金（経営開始型）

相談のきっかけ 県普及センター、青年就農給付金（準備型）研修機関の有機栽培農家に相談

参入に繋がった理由 研修を受け技術を身につけたこと。研修中に地元農家の有力者より農地の紹介を受けたこと。研修先以外の有機栽培農家と繋がったこと。研修を受ける前に自己資金を確保したこと

参入後の状況 技術と農機は研修先農家、農地は地元農家、総合的な相談は県普及センターが支援

新規就農事例 14

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|------|----------|-------|------|
| 東海 | 男 | 31歳 | 有 | 無 | 会社員 | 不明 | 畑作 | 23a | 23a |

研修内容など 管内の有機 JAS 認定農家のもとで研修を 2 年間実施し、技術を習得した。青年就農給付金（準備型）を利用

相談のきっかけ 農業体験に自ら参加し、興味をもったとのこと。市から紹介

参入に繋がった理由 研修が十分に実施されたため。研修受入農家が有する農地及び農機具を貸すことが可能であったため。研修受入農家と参入者の農地が近く、相談環境が整っていたため

参入後の状況 半年毎に就農状況の確認ということで、ほ場視察、助言指導、その他相談を実施している

新規就農事例 15

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|----|------|----------|-------|------|
| 東海 | 男 | 31歳 | 無 | 無 | 不明 | 不明 | 野菜作 | 78a | 6a |

研修内容など 研修先は市内の有機農家。露地野菜（少量多品目）の研修。公的支援は青年就農給付金（準備型）を受給

相談のきっかけ ウェブサイトで青年就農給付金（準備型）を知り、受給可能か相談

参入に繋がった理由 研修先は、最初の相談までに自ら決定。農地は、将来の直売を見据えて人が集う公園の近くに定め、その地域に何度も足を運んで交渉するなど、自発的に行動した。県普及センターは、青年就農給付金（準備型）の承認申請にあたり、JICA から受給した帰国初動生活手当や帰国社会復帰手当が生活費を支給する国の他の事業と重複受給にはあたらないことを県庁を通じ国へ確認したうえで受理した

参入後の状況 市内の若手組織(若手プロ農家集団)と接点を持ち、販路を模索している。農地周囲の農家との付き合いを大切に、礼節を重んじている。近隣農家が

ら倉庫の一角を借りられるようになるなど信用を得ている。獣害対策での防護柵設置など、地域と一体となって営農環境を整えている

新規就農事例 16

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-------|-------|----------|-------|------|
| 東海 | 男 | 35歳 | 無 | 無 | 農業従事者 | 200万円 | 稲作、畑作、畜産 | 30a | 20a |

研修内容など 有機農家で、養鶏・麦・露地野菜について2年間雇用就農
 相談のきっかけ ホームページ
 参入に繋がった理由 有機農業についての理解がしっかりしている。就農地の行政が新規就農しやすい参入制度である
 参入後の状況 相談の都度対応している

新規就農事例 17

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|-------|----------|-------|------|
| 東海 | 男 | 33歳 | 有 | 1人 | 会社員 | 500万円 | 野菜作 | 50a | 50a |

研修内容など 地域の有機農業者のもとで8か月研修したのち就農。公的支援は受けていない
 相談のきっかけ 個別相談
 参入に繋がった理由 親族から農地を借り受けることができたこと。研修を受けてから就農したこと。自己資金の準備があったこと
 参入後の状況 新規就農者向けセミナーおよび有機農業に関するセミナーの紹介

新規就農事例 18

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|----|------|----------|-------|------|
| 北陸 | 男 | 22歳 | 無 | 無 | 無職 | 不明 | 稲作、畑作 | 不明 | 不明 |

研修内容など 不明
 相談のきっかけ 新・農業人フェア
 参入に繋がった理由 研修
 参入後の状況 不明

新規就農事例 19

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-------|-------|----------|-------|------|
| 北陸 | 男 | 47歳 | 有 | 無 | 農業従事者 | 300万円 | 畑作 | 92a | 92a |

研修内容など 普及指導センターからの技術指導、支援
 相談のきっかけ 新規参入の相談（農地確保）
 参入に繋がった理由 農地の借用をきっかけとした新規参入、有機栽培技術の相談対応
 参入後の状況 普及指導センター（栽培技術、経営指導）、JA（販売、直売所組合員、大豆乾燥）、市役所（農地の斡旋）、若手農業者（情報交換、交流）

新規就農事例 20

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----------|-------|----------|-------|------|
| 近畿 | 男 | 45歳 | 無 | 無 | パート・アルバイト | 200万円 | 畑作 | 30a | 30a |

研修内容など 有機農家での研修及び、有機農業団体の勉強会。

相談のきっかけ 農家との出会い

参入に繋がった理由 やりたかったから

参入後の状況 開墾の手伝いなど

新規就農事例 21

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-------|-------|----------|-------|------|
| 近畿 | 女 | 35歳 | 有 | 無 | 農業従事者 | 100万円 | 野菜作ほか | 70a | 70a |

研修内容など 他県の有機農業者のもとで、多品目の野菜栽培を実践していた

相談のきっかけ 知人の農家からの紹介

参入に繋がった理由 「地域の後継者」として近隣農家に認識されたため、農地や住居の斡旋に協力してもらえた。また、県・市・JA・就農支援 NPO 団体も就農のサポートを行った

参入後の状況 近隣の農家、NPO 団体がサポートを行っている

新規就農事例 22

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|-------|----------|-------|------|
| 近畿 | 男 | 45歳 | 無 | 無 | 会社員 | 100万円 | 野菜作 | 23a | 23a |

研修内容など 有機農業者から野菜(コマツナ、ミズナ、伏見トウガラシなど約 50 品目)の栽培技術を学んだ。担い手養成実践農場研修及び青年就農給付金(準備型)を受給

相談のきっかけ 趣味である剣道のつながりから有機農業の指導者を紹介してもらい、指導者からの紹介で普及センターに来所

参入に繋がった理由 優れた有機農業の指導者と出会い、まじめに農業研修をすることを通じて、農地や販売先を紹介してもらえたため

参入後の状況 定期的に普及センター担当が相談に応じている

新規就農事例 23

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|----|------|----------|-------|------|
| 近畿 | 男 | 34歳 | 有 | 無 | 無職 | 不明 | 稲作 | 100a | 不明 |

研修内容など JA、近隣農家にて、除草剤を使用しない稲作

相談のきっかけ 就農者の妻の実家近くで農業をやりたい

参入に繋がった理由 JA に無農薬米部会が存在し、部会に入会した

参入後の状況 不明

新規就農事例 24

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----------|-------|----------|-------|------|
| 近畿 | 男 | 27歳 | 有 | 1人 | パート・アルバイト | 300万円 | 野菜作 | 40a | 40a |

研修内容など 楽農生活センター、農業生産法人（雇用就農）
 相談のきっかけ 独立就農に向けて来所相談
 参入に繋がった理由 農地は農業委員会、雇用就農期間に作物栽培の基礎技術を習得。
 参入後の状況 関係機関（市、農業委員会、JA、県）で営農状況の確認を行い、都度都度必要なアドバイスを実施

新規就農事例 25

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|----|-----|------|-------|------|----------|-------|------|
| 近畿 | 男 | 不明 | 不明 | 1人 | 農業従事者 | 不明 | 野菜作ほか | 不明 | 不明 |

研修内容など 不明
 相談のきっかけ 不明
 参入に繋がった理由 不明
 参入後の状況 不明

新規就農事例 26

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|----|-------|----------|-------|------|
| 近畿 | 男 | 36歳 | 有 | 無 | 不明 | 300万円 | 野菜作 | 40a | 2.7a |

研修内容など 青年就農給付金（準備型）。県就農支援センター（就農コース研修生）
 相談のきっかけ 県就農支援センターのウェブサイト・セミナー
 参入に繋がった理由 有機農業の学校（民間の研修所にて有機農業の栽培技術、実習）。市担当課（都市住民を市内への移住促進の支援業務）がお世話。市内に有機農業の葉野菜（ホウレンソウ他）産地があり、消費者（イオン、生協）と生産農家の交流活動が継続されている
 参入後の状況 親方農家に準ずる生産者が、就農者の相談対応と技術支援をサポート

新規就農事例 27

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|----|------|----------|-------|------|
| 近畿 | 男 | 25歳 | 無 | 無 | 不明 | 50万円 | 畑作、野菜作 | 20a | 20a |

研修内容など 農大実践研修
 相談のきっかけ 農大から地域就農支援センターを訪問するように指示された
 参入に繋がった理由 既に有機農業者を受け入れている集落に入植したこと、住居も同じ集落で確保できた。
 参入後の状況 同じ集落に有機農業を実践している農家があり、出荷先等販売ルートの一部共有している

新規就農事例 28

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|----|-------|----------|-------|------|
| 近畿 | 男 | 36歳 | 無 | 無 | 不明 | 200万円 | 野菜作 | 15a | 15a |

研修内容など 市内の有機農業実践農家（たまねぎ、にんじん、ばれいしょ等）

相談のきっかけ 不明

参入に繋がった理由 不明

参入後の状況 認定新規就農計画作成の支援

新規就農事例 29

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|-------|----------|-------|------|
| 中国 | 男 | 40歳 | 有 | 1人 | 会社員 | 500万円 | 畑作 | 不明 | 不明 |

研修内容など 生産グループ代表者のもとで、ハウレンソウなどの栽培を研修。2年間の研修に関わる研修費（年あたり150万円）の公的支援を受ける

相談のきっかけ 就農相談会

参入に繋がった理由 研修の受入先があったため

参入後の状況 研修を通して技術習得を支援

新規就農事例 30

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|------|----------|-------|------|
| 中国 | 男 | 32歳 | 有 | 無 | 会社員 | 50万円 | 畑作 | 114a | 114a |

研修内容など 有機農業法人にて、施設野菜、露地野菜、穀類の栽培管理、収穫および片付作業。市の研修制度（15万円/月）を1年間利用。雇用就農1年6か月

相談のきっかけ 新・農業人フェアにおける市の担当者の熱心な勧誘

参入に繋がった理由 市（支援センター）を中心に関係機関が一体となり就農者を支援する体制が整っている点や、就農後のバックアップ（販路など）もあり、スムーズな就農に繋がったと思われる

参入後の状況 就農計画達成に向けた経営・技術支援

新規就農事例 31

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|---------|-------|----------|-------|------|
| 中国 | 男 | 47歳 | 有 | 1人 | ミュージシャン | 500万円 | 稲作、畑作 | 42a | 42a |

研修内容など 定住財団の産業体験研修制度を利用

相談のきっかけ ウェブサイトによる情報収集

参入に繋がった理由 研修が快適であったため、そのまま農業従事を決めた

参入後の状況 研修先とは、お互いの作業補完する程度。農業機械等は栽培品目が異なることもあり、別に取得した

新規就農事例 32

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|----|------|----------|-------|------|
| 中国 | 男 | 45歳 | 無 | 無 | 無職 | 不明 | 野菜作 | 121a | 121a |

研修内容など 葉物野菜、雇用就農
 相談のきっかけ 本県独自の就農相談会
 参入に繋がった理由 就農相談バスツアー参加で現地訪問したこと
 参入後の状況 市の担い手支援センターが関係機関と一緒にフォロー

新規就農事例 33

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|------|----------|-------|------|
| 四国 | 男 | 30歳 | 無 | 無 | 会社員 | 不明 | 野菜作、果樹 | 68a | 68a |

研修内容など 有機農家、野菜、準備型
 相談のきっかけ 不明
 参入に繋がった理由 青年就農給付金（準備型）を活用しながら研修で技術を習得し、研修後、順調に農地を確保できたため
 参入後の状況 不明

新規就農事例 34

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----------|------|----------|-------|------|
| 四国 | 女 | 33歳 | 無 | 無 | パート・アルバイト | 27万円 | 畑作 | 50a | 50a |

研修内容など 多品目露地野菜の有機農家にて1年間研修。地元有機農業団体にてそれ以前に不定期で研修、地域おこし協力隊の活動の一環として体験
 相談のきっかけ 不明
 参入に繋がった理由 2011年に「緑のふるさと協力隊」として県内に移住し、その後「地域おこし協力隊」としても活動し、地域の人との繋がりが出来たことで土地探しや農機探しなどでも色々な人に助けをもらうことができたのが、大きな助けになった
 参入後の状況 以前研修をした地元有機農業団体は新規就農農家グループとして現在共同出荷をしている。確保をはじめ代表の農家にもお世話になっている

新規就農事例 35

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|-------|----------|-------|------|
| 九州 | 男 | 35歳 | 有 | 1人 | 会社員 | 100万円 | 野菜作 | 30a | 30a |

研修内容など 周辺の有機農業者（有機栽培方法、種苗入手先など）
 相談のきっかけ 新規就農相談（電話・訪問）
 参入に繋がった理由 技術指導（病虫害診断・施肥設計等）、仲間づくり（同じ頃に新規就農したメンバー同士（有機に限らない）で勉強会を開催）

参入後の状況 不明

農業法人への就職事例 1

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資 金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----|----------|--------------|-----------|----------|
| 近畿 | 男 | 38歳 | 無 | 無 | 会社員 | 不明 | 畑作、野菜作 | 100a | 100a |

研修内容など 農の雇用事業
 相談のきっかけ 職業訓練学校「農業科」
 参入に繋がった理由 不明
 参入後の状況 不明

農業法人への就職事例 2

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資 金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----|----------|--------------|-----------|----------|
| 近畿 | 男 | 27歳 | 無 | 無 | 会社員 | 10万円 | 野菜作 | 不明 | 不明 |

研修内容など 不明
 相談のきっかけ 不明
 参入に繋がった理由 不明
 参入後の状況 不明

転換参入事例 1

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資 金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-------|----------|--------------|-----------|----------|
| 東北 | 男 | 38歳 | 無 | 無 | 農業従事者 | 不明 | 稲作 | 1500a | 900a |

研修内容など 不明
 相談のきっかけ 不明
 参入に繋がった理由 不明
 参入後の状況 不明

転換参入事例 2

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供 ほか | 前職 | 自己 資金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----|----------|--------------|-----------|----------|
| 関東 | 男 | 40歳 | 有 | 2人 | 会社員 | 不明 | 稲作 | 500a | 50a |

研修内容など 有機農業推進団体の農場見学、講習会に参加
 相談のきっかけ 農場見学・講習会
 参入に繋がった理由 親からの委譲や地域の後押しで環境が整っていたこと。有機農業推進団体への技術相談
 参入後の状況 有機農業推進団体への技術相談

転換参入事例 3

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほ か | 前職 | 自己資 金 | 参入後の 農業形態 | 全農地 面積 | 有機 面積 |
|----|----|-----|-----|----------|-----|----------|--------------|-----------|----------|
| 関東 | 男 | 40歳 | 有 | 2人 | 会社員 | 不明 | 稲作 | 500a | 50a |

研修内容など 有機農業推進団体の農場見学、講習会に参加

相談のきっかけ 有機農業推進団体の講習会
 参入に繋がった理由 親からの委譲や地域の後押しで環境が整っていたこと。有機農業推進団体への技術相談
 参入後の状況 有機農業推進団体への技術相談

転換参入事例 4

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|-------|----------|-------|------|
| 北陸 | 男 | 50歳 | 有 | 2人 | 会社員 | 100万円 | 稲作 | 100a | 30a |

研修内容など 集落営農組織
 相談のきっかけ 相談会
 参入に繋がった理由 研修にて、有機農業に深い関心を持ったから
 参入後の状況 不明

転換参入事例 5

| 地域 | 性別 | 年齢 | 配偶者 | 子供ほか | 前職 | 自己資金 | 参入後の農業形態 | 全農地面積 | 有機面積 |
|----|----|-----|-----|------|-----|------|----------|-------|------|
| 九州 | 女 | 63歳 | 有 | 無 | 自営業 | 不明 | 果樹 | 120a | 不明 |

研修内容など ネット販売の会社より紹介を受け、認証を得たいとの要望であったので、有機農業推進団体へつなぎ、認定を得た
 相談のきっかけ 不明
 参入に繋がった理由 不明
 参入後の状況 不明